

### こちら特報部

**本音の**  
**コラム**

親を見送り、子どももない私にとって、母の日は、父の日はじき親を思う日。今年は改めて母から引き継いだものを感じ返した。母・吉武種子は、平和運動に終生関わり、今の私の思想に深い影響を与えている。敢えてひととだけあげると、以下の場面である。

前後の文脈は忘れたが、中学に入ったばかりの頃だと思ふ。ある時私が「公務員は民間より給料が良くない。もっとと下げて民間に回すべきだ」と言うと、母から猛烈な反論を受けた。「おっちゃん、身分が保障される公務員の給料が下がったら、保障されない人の給料はもっと下がるの

よ。そこを間違っちゃいけないの。公務員の給料を下げる人は、民間の給料も下げたい。誰も幸せにならない。辛い負かされた悔しさと共に、「ああそうか」と、知らない世界を知った驚きを感じた。物事は真実があり、じっくり考えないと、悪事に手を染めてしまう。そんなことを学んだ。

その後、公務員叩きが盛んになった。公務員が非正規職員に置き換わり、給料も下がっていった。では民間の給料が上がったか? そんなことはない。このような考えを伝えてくれた母に、とても感謝している。

コロナ対策を通して、公務員を減らすすぎたとの声も上がる。公務員叩きは、結局私たち自身の首を絞めたのではない(看護師)

2021.5.17



宮子 あずさ

### 「斜陽」スラスラ英訳

父ナルド・キーンが東京で初めて持ったマンションは、文京区西片町にありました。「西片」が英訳した太宰治の「斜陽」に出てくる地名だったことが理由です。米国の失業やインフレの対策でドルが切り下げられる直前の1971年夏で、ドルで貯金していた父にはお金の面で運が良かったそうです。ところが、「思ったより狭く、騒音に悩まされ、すぐに買い替えを考えました」と父は話していました。

太宰の名は京都大学大学院に留学した53年に知り、短編『ヴィヨンの妻』を英訳しました。それをニューヨークの出版社の社長が気に入り、次は長編をといわれ「斜陽」を訳しました。父のために英訳権を得る手助けをしたのは川端康成でした。

『斜陽』は敗戦直後の没落貴族の家族を、太宰の体験を微妙に織り交ぜつつ描いた代表作です。47年に出版されて、大ベストセラーになり、「斜陽族」という言葉まで生まれました。今なら絶対に「流行語大賞」でしょう。

父は「太宰と僕には、性格に天と地ほどの違いがあります。しかし、英訳している時、僕自身が『斜陽』を書いているような感じがした。太宰の気持ちの中に自分を満たせばよく、スラスラと英語が「出てきました」と話していました。2年間の留学を終えて、2カ月かけて香港、英国などを旅している最中でした。その後、ニューヨークに帰った父は、コロンビア大学で研究活動を続ける一方、教職を得て教え始め、週10コマも授業を持ち、社交界にも出入りするようになりました。極度に多忙だった時期に、わずか3カ月で英訳を終えたそうです。

三島由紀夫は太宰を嫌っていました。父が英訳しているのと知って「何で太宰を訳すんですか」と、父を責めたそうです。父は私に「三島さんが太宰を嫌ったのは、自分と似ているところがあつたからでしょう。2人とも仮面をかぶって生きていたと思います」と話してくれました。

太宰の英訳本はロングセラーとなり、今も売れているのは、国籍を問わず共感できる人間の不安や憧れを描いたからでしょう。父は「世界文学の上に地位を持つ作品」と高く評価していました(キーン誠己) = 次回は31日に掲載予定。

### 公務員叩き

太宰の心の中に入り込み

邦楽離れの歯止めは待たない。全国邦楽器組合連合会によると、三味線の製造数は一九七〇年に一万八千丁(国産一万四千五百丁)だったが、二〇〇〇年には一万丁を割り込み、一七年は三千四百丁(同千二百丁)に。半世紀ほどで八割以上も激減した。

国も無策だったわけではない。〇二年には中学校の学習指導要領に「和楽器については、三学年間を通じて一種類以上の楽器を用いること」と明記。邦楽離れを食い止めたようだった。

「生徒たちは、こちらが思う以上に一生懸命取り組んでくれている」。音楽の授業で三味線を必修科目にする都立白鷗高校付属中学校(台東区)音楽担当の伊藤 隆平(台東区)は言う。

東京府第一高等女学校が前身で、伝統芸能に力を入れている学校だ。校内に約八十丁の三味線をそろえる。だが、伊藤教諭の専門は音楽で、前任の音楽教諭も含めて和楽器は専門外。「大学の授業で和楽器の基礎は学んでいるが、苦戦する先生も多い。スキルアップできる場があつてもいい」。

裾野の広がりにはプロ奏者にも影響する。日本芸術文化振興会では、一九九九年から歌舞伎音楽(長唄)の研修を開

## 美しい音色 絶やさない

国立劇場調査養成部の笹川康雄部長は「表舞台というわけではないが、意気込んで門をたたいてくれている。伝統芸能の継承に研修制度の役割が大きき。若い頃から日常的に三味線などの邦楽に触れる機会があることが、結果的に良い人材を生む。邦楽が身近であることが、研修制度の成果につながる」と話す。

地道な取り組みはあるのだが、そもそも文化芸術に投入する国の予算は他国と比べて圧倒的に少ない。

### 中学生に邦楽の学習



音楽の授業で使う三味線がずらりと並ぶ音楽室。東京都台東区の都立白鷗高校付属中学校で

### 国の交付金で研修制度

文化庁の調査によると、国の伝統芸能やアニメなど文化全般への支出額は一九年度で千六百七億円。国家予算の0.12%で、国民一人当たり換算すると年間九百二十二円。フランスは0.92%で一人当たり六千七百八十四円、韓国は1.14%で五千八百四十二円と、差が大きい。

専門誌「邦楽ジャーナル」の田中隆文編集長(66)は、「国は、教育に和楽器を」というが、掛け声だけでお茶を濁してきた」と指摘。衰退に歯止めがかから

**世界遺産級の感動ずらり!**  
全83種の切手は登録地ごとに美しい写真・絵画入りの特製解説カードにセットされます。

# 日本の世界遺産

美しい切手でたどる感動のコレクション

切手コレクション【全83種・9回シリーズ】

監修・解説 郵便学者 内藤陽介

マニア垂涎の一枚

「姫路城」昭和すかしなし  
昭和26年(1951.3.27)発行  
偽造防止の透かしを廃止し、印刷効果を高めた普通切手として有名。額面は銭単位。

初めての世界遺産登録から20年。切手という「小さな歴史遺産」を通して、日本の世界遺産をたどる夢のコレクションが誕生しました。郵便学の権威、内藤陽介氏が厳選した切手全83種は、どれも発行当初の美しさを保つ完全未使用の希少な既発品。80年以上もの歳月を経た貴重な国立公園シリーズ切手や、知床の豊かな自然をとらえた色鮮やかな4種連刷切手、さらに今日高値がついているマニア垂涎の有名な普通切手も確保。今すぐお申し込みください。

世界遺産登録20周年記念 **<日本の世界遺産>** 切手コレクション 全83種

商品番号 09305-076501  
各回カード2点1組で 月々19,800円(税込21,780円) お届け回数9回

専用アルバムを無料進呈  
特製解説カードを自由にファイルできるバインダー式です。

裏面の解説で切手の図案や発行にまつわる興味深い逸話がわかります

「大峰山」 第1次国立公園(吉野熊野) 昭和24年(1949.4.10)発行

「飛騨の里」 ふるさと切手(岐阜県) 平成2年(1990.10.9)発行

「富名園・御殿と石橋・六角堂」 ふるさと切手(沖縄県・2種) 平成11年(1999.10.28)発行

「ふじ山」 日本の歌シリーズ 昭和55年(1980.1.28)発行

お申し込みは今すぐ!! お電話は早朝6時~夜9時まで

通話料無料 0120-111-100

インターネット <https://iei.jp/09305076501/> ハガキ

FAX 0120-917-918